

令和2年12月2日
山県市

報道関係者各位

-大桑城の姿がさらに立体的に- 大桑城跡の「赤色立体模型」が完成！

山県市（市長 林 宏優）では、今年度作成した大桑城跡の赤色立体地図をもとにした立体模型を作成しました。これにより、大桑城跡の曲輪や堅堀、地形の高低差などを、赤色立体地図よりさらに立体的に、そして明瞭に把握できるようになりました。

今後、赤色立体模型を活用し、大桑城跡の構造や城域などを立体的に検討し、全体像の解明を進めます。

調査の概要	<ul style="list-style-type: none">・航空レーザ計測（大桑城跡を含む約3km²の範囲に対し、上空500mからレーザ光を1秒間に20万回照射）を実施・測量データをもとに、立体模型を作製
赤色立体模型の寸法など	<ul style="list-style-type: none">・縦約25cm×横約38cm×高さ約10cm・縮尺2,500分の1
赤色立体模型の特徴	<ul style="list-style-type: none">・赤色立体地図の三次元データをもとに、3Dプリンタにより地形を立体的に表現・立体模型により地形や痕跡について、高低差・規模・位置関係などが一目瞭然
赤色立体模型からわかること	<ol style="list-style-type: none">① 大桑城跡が築かれた古城山の詳細な地形 大桑・富永側の急傾斜、青波側の緩傾斜② 曲輪・堀切・堅堀などの痕跡の立体的な位置関係 各遺構の位置関係について、高低差を明瞭に把握できる
模型の展示	<p>[PR]</p> <ul style="list-style-type: none">・市内2施設で展示 令和2年12月4日(金)～12月20日(日) 文化の里古田紹欽記念館 令和3年1月4日(月)～1月29日(金) 市役所本庁舎1階ロビー・担当コメント 今回作製した赤色立体模型は、大桑城の地形や痕跡について高低差・規模・位置関係などが一目瞭然であり、模型を見ているとまるで大桑城にいる感覚になります。美濃国守護の土岐氏が地形を巧みに利用し、防御施設や居住空間を整備した大桑城の姿がリアルに表現されていますので、ぜひ見学してください。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】
山県市生涯学習課文化財調査室 高木・長屋
Tel : 0581-32-9008 Fax : 0581-22-6851
Mail : shogai@city.gifu-yamagata.lg.jp

【用語について】

大桑城：位置－山県市大桑、青波、富永（古城山の山頂部一帯）

歴史－1535(天文 4)年　：美濃国守護土岐氏が大桑城に移転

1543(天文 12)年　：斎藤道三との戦により落城

1550(天文 19)年頃：最後の守護土岐頼芸が国外に追放される

航空レーザ測量：航空機により上空からレーザ光を照射し、地形を高密度かつ高精度に計測。

赤色立体地図：航空レーザ測量で得た三次元データをもとに、地形を赤色の濃淡で表現した地図。

※赤色は人が立体感を感じる色彩として最も有効

※尾根は明るく、谷は暗く、急斜面はより濃い赤色で表現

曲輪くるわ：斜面を削る、土を盛るなどして造られた人工的な平坦地。

堀切ほりきり：尾根を断ち切る堀。尾根から攻めてくる敵の侵入を防ぐ。

豎堀たてぼり：斜面の方向に掘られた堀。敵の横の移動を防ぐ。

【赤色立体模型展示施設の概要】

○文化の里 古田紹欽記念館（特別企画展「美濃と越前をつなぐもの」内）

住 所：山県市洞田127番地131

電 話：0581-36-1023

開館日：火曜日～日曜日 9時～17時

（閉館は、月曜日、祝日の翌日（この日が土曜日・日曜日の場合は開館）、

12月29日～1月3日、特別整理期間（前もって掲示）

○市役所本庁舎（1階市民ホール）

住 所：山県市高木1000番地1

電 話：0581-22-6820（総務課）

開庁日：月曜日～金曜日 8時30分～17時15分

（閉庁は、土・日・祝日、12月29日～1月3日）

【赤色立体模型写真】

